


受賞者氏名	池上 宗信	
所属	経済学部	
受賞年月日	2021年8月1日	
国内・国外	国外	
授与機関等名称	Agricultural and Applied Economics Association International Section (AAEA International Section、(米国)農業応用経済学会国際部門)	
受賞名	AAEA International Section Best Publication 2020	
受賞(研究)内容詳細	<p>農業応用経済学会国際部門は、国際的な分野において模範的な研究を行った学会員を認識するために、毎年、前年の刊行論文の中から最優秀論文を表彰する  (<a href="https://www.aaea.org/membership/sections/international/awards">https://www.aaea.org/membership/sections/international/awards</a>)。イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校の Sarah Janzen 教授とカリフォルニア大学デービス校の Michael Carter 教授との共著論文“Can insurance alter poverty dynamics and reduce the cost of social protection in developing countries?” <i>Journal of Risk and Insurance</i>, 88(2), pp.293-324, <a href="https://doi.org/10.1111/jori.12322">https://doi.org/10.1111/jori.12322</a> が、2021年の最優秀論文に表彰された。</p> <p>この論文は、貧困の罫の存在する経済において、生産的資産へのインデックス型保険がもたらす、貧困と社会保障費用への効果を、数値シミュレーションを用いて分析した。貧困の罫の閾値よりわずかに大きな生産的資産を持つ家計は、他の家計よりも、貧困の罫に対して脆弱であり、インデックス型保険からより大きな便益を得る。一方、インデックス型保険は、実際の損害額とインデックスの間のギャップであるベース・リスクが存在し、上述の家計は貧困の罫に陥ることを回避するために、ベース・リスクをもつインデックス型保険の購入ではなく、生産的資産への投資を選択してしまう。このとき、保険料への公的補助は、上述の家計の保険需要を喚起し、保険によって経済全体の貧困と社会保障費用を抑制する、有力な財政政策であることが明らかにされた。</p>	